

令和8年度 第5回 朝日丘地域会議 会議録

■日 時 令和8年9月10日(木) 午後7時～8時30分

■場 所 朝日丘交流館 2階 21会議室

■出席者 <委 員> 山口 美智雄 高橋 英明 深井 弘司
長尾 敬一郎 野田 英伸 都築 正孝
川上 真史 藤田 武士 水野 和之
横山 浩一 日高 俊郎
<欠 席> 中山 憲雄 岡本 勝好
<事務局> 板倉 壮吾(地域交流課副主幹) 田中 和香(地域交流課主事)

- 次 第
- 1 開会・会長あいさつ
 - 2 地域課題解決事業について
 - (1) 交流館フェスタ(防災ブースの出展)
 - (2) 次年度以降実施事業について
 - 3 閉会

■議 事 (要約)

2 地域課題解決事業について

各事業について事務局から案を掲示した。委員からの意見は以下のとおり。

(1) 朝日丘交流館フェスタ(防災ブースの出展)

<クイズラリー>

- ・問題用紙やスタート地点等に他の問題の掲示場所や、回答のヒントとなる場所を明記し、回答のヒントや答えとなるものを展示してはどうか。
- ・受付～回答まで、混雑解消のためブースの中で、正誤確認ブース(解説含む)を設けてはどうか。
- ・電子回答は、即回答の送信を可能とし、紙回答の場合は、最終問題終了後のブース内の回答確認箇所まで正誤を確認し、アンケートに回答後、回答用紙を提出してもらう運営とする。
- ・体験型クイズについて、子どもが家族分の給水バックを持ち上げることは力的にも難しいため、給水バックの実物を見て、回答を選択するようなクイズにする必要がある。
- ・クイズの言い回しは子どもに理解しやすい表現に変更し、委員に作成を依頼する。

<景品>

- ・景品を渡すときに防災に関するチラシをいくつか渡してはどうか。
 - ・チラシだけだと廃棄される可能性もあるため、クリアファイル等と一緒に配る。(防災虎の巻・防災対策課のチラシ・愛知県警備蓄チェックリストの紙 など)
 - ・簡易トイレは自分で備蓄をするという意識がなければ、あまり買う事のないもののため、景品として配付してはどうか。
- 【×】食べ物(事故等を避けるため) 【×】給水バックは水を保存するものではないため

上記の意見を踏まえ、ブース全体の運営(必要な物品や展示等)は事務局で最終案を作成し、当日の運営者等は次回会議で決定する。また、クイズについては、委員に Google フォームにて作成を依頼することとした。

(2) 次年度以降実施事業について

- ・ イベント参加者が持ち帰り、継続的に活用できるものとして、啓発に関するクリアファイルを作成する方向で検討する。
- ・ フェスタとイベント等の実施時期が近くなってしまうため、開催時期を検討する必要がある。

その他事業の方向性については、前回までの協議内容のとおりとした。

(終了)